

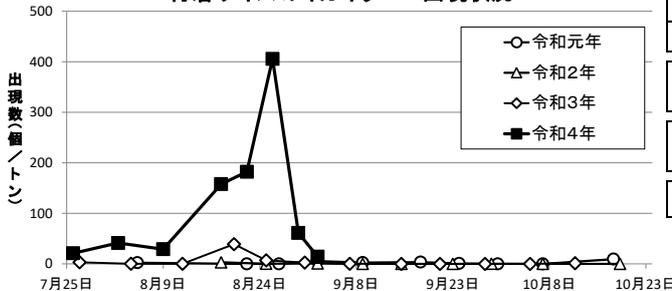
◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ(シュウリガイ)ラーバは170~180 μ mの小型個体を中心に平均で432個/トン出現していました。260 μ m以上の付着サイズは14個/トン出現しており、前回よりも減少しました。

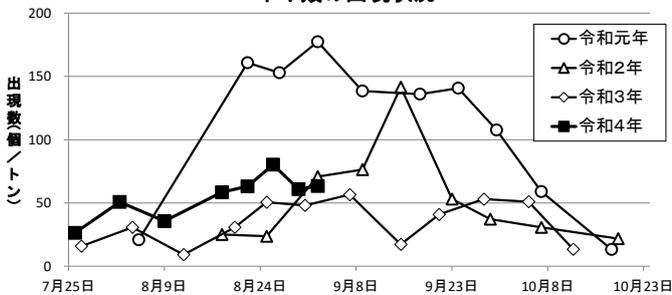
ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは63個/トン出現しており、前回と同様の結果でした。

次回は9月6日(火)に実施予定です。

付着サイズのイガイラーバ出現状況



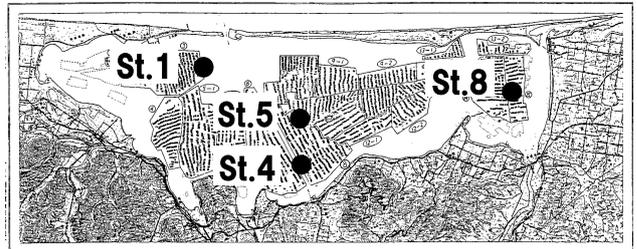
ホヤ類の出現状況



イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	4.5	11.1	46.9	0.0	15.6
150 ~ 160	26.7	55.5	90.1	11.1	45.9
160 ~ 170	89.1	133.1	90.1	11.1	80.9
170 ~ 180	93.6	133.1	173.0	33.3	108.3
180 ~ 190	13.4	83.2	90.1	11.1	49.4
190 ~ 200	40.1	66.6	25.2	0.0	33.0
200 ~ 210	13.4	44.4	18.0	11.1	21.7
210 ~ 220	13.4	22.2	14.4	22.2	18.0
220 ~ 230	4.5	11.1	3.6	33.3	13.1
230 ~ 240	0.0	22.2	7.2	55.5	21.2
240 ~ 250	0.0	16.6	10.8	11.1	9.6
250 ~ 260	4.5	0.0	0.0	0.0	1.1
260 ~ 270	0.0	11.1	3.6	0.0	3.7
270 ~ 280	0.0	0.0	3.6	11.1	3.7
280 ~ 290	4.5	5.5	7.2	0.0	4.3
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	11.1	2.8
合計	307.4	615.8	583.9	221.9	432.3
200 μ m以上	40.1	133.1	68.5	155.3	99.3
	13.0%	21.6%	11.7%	70.0%	23.0%
260 μ m以上	4.5	16.6	14.4	22.2	14.4
	1.4%	2.7%	2.5%	10.0%	3.3%
ホヤ類	10.0	165.1	45.1	33.3	63.4

付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

9月2日に湖内中央部ブイ5の水温(°C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は全層で22°Cを下回っていました。溶存酸素は底から水深13.5mまでで5mg/Lを下回っていました。

塩分は全層で33‰以上ありました。

